



「ジュエリーは女性の自尊心」と語る草刈さんは、作品一つひとつに女性の名前をつける。つくり下ろしの作品を撮り下ろしの写真と書き下ろしの詩をもってウェブサイトにアップする。これがリパッティのスタイル。

「子育てママの支援」というお考えについてはいかがでしょうか。女性のためになるものを提供していくという理念の工房ですので、雇用に関してできる限りのことをしようと思っております。例えば、スタッフ一人一人の勤務時間が違ったり、「子連れ出勤規定」のもと、子ども連れでの勤務ができるようになっていきます。また、内職のスタッフには自宅で子育てをしながらお客さまへの手紙を代筆してもらっています。フレキシブルなお母さんだと、午前中、子どもが幼稚園に行っている間は工房で仕事をし、子どもが帰ってきたら自宅で内職をするという社員もいます。何より、一人一人が生き生きと日々を過ごし、お互いを

「贈り物」って、お客様に届けたい。御社の商品は徐々に注目を集めていると伺っていますが、その特徴をお聞かせください。いくつかありますが、ここでお客様へのオーダーを受け、その方だけの一点ものをつくり、送り出すことができます。こと「ワンストップ」という言葉が違うのかもしれないが、ここに特徴があると思います。自分たちが何をするのようにつくり、いつ、いくらかで販売していくのか、それをお客さまとのやりとりの中で決定し、実行できる点に大きなオリジナリティーがあると思っています。

また、「贈り物」というコンセプトにもこだわりがありまして、全作品を簡易ラッピングで送っているんです。自分でほんのちよっとのつもりで買った2000円程のピアスが、リボンが掛かって届いたら、プレゼント感覚でうれしいと思うんですね。ですから、梱包には時間をかけていますし、手書きのお手紙も付けています。通販ではありませんが「誰かとやりとりをした」という楽しみを少しでも味わっていただきたいと思い、そうした工夫をしています。

### 「贈り物」って、お客様に届けたい

思いやりながら仕事ができると思いながら、働く環境を整えています。

## クローズアップインタビュー

# 今までなかったものをこの仙台で生み出し、全国、そして世界に発信していきたい。

オーダーメイドジュエリー工房 リパッティ 代表

くさかり みちこ 草刈 美智子 さん

プロフィール

昭和57年5月14日生まれ。塩竈市出身。血液型O型。早稲田大学第一文学部を卒業後、東京で金融機関などに勤務。妊娠を機に失業状態となるが、東日本大震災をきっかけとして「新生児を抱えた自分ができること」を模索し続けた末、仙台でリパッティを設立。工房名の由来はルーマニアの天才ピアニスト、デニス・リパッティから。座右の銘はチェコスロバキアの初代大統領トマーシュ・ガリッグ・マサリクの言葉「明晰な思考は痛みを伴う」。「何でも真剣に考え始めると、その思考って“痛い”んです。けれどそれは乗り越えなければいけないものなので、私は痛くともそれに負けず、日々がんばっています」とおおらかに笑う。



### 一日一作品、新作を発表

「全国商工会議所女性会連合会が主催する『女性起業家大賞』の特別賞受賞、おめでとうございます。はじめに御社の事業内容を教えてください。

ありがとうございます。大変な賞をいただき感謝しています。仙台商工会議所さんとは創業支援をしていただいたからのご縁で、現在も必要に応じてご指導いただいています。この賞にもご担当者の勧めでエントリーしました。私たちは天然石を用いたアクセサリやおびジュエリーを全てオリジナルで製作しています。デザインは全て私が総括し、一日一作品、新作を発表しています。販売経路は90%がオンラインショップですが、作品を手にとってご購入いただけるギャラリーも青葉区立町に設置しています。また、全国の百貨店を中心に、他の作家さんとの合同イベントでも販売をしています。

### 得意の「手づくり」が収入源になる

「今回の受賞理由としては、東日本大震災を契機とした創業の経緯や、子育てママの支援といった理念が評価された」と伺っています。まず起業するまでの経緯から教えてください。震災当時、私は東京にいて子育てを

### 目指すのは海外拠点の設置

「今後の抱負を聞かせてください。私たちの作品を紹介するウェブサイトの一部で英語の環境を整えましたので、全世界からご注文を受けられる体制にあります。現在も、アジア圏を中心に個人のお客さまから、月に10件前後ご注文を頂戴しているかと思えます。この流通を拡大して、ゆくゆくは合同イベントなどを開催できればいいなと思っています。そして、海外に拠点を置くのが目標です。今までなかったものをこの仙台で生み出し、それを発信していくことに意義を感じていますので、このような流通を世界にも拡大していきたいと思っています。

### 【概要】

#### オーダーメイドジュエリー工房 リパッティ

代表者：代表 草刈 美智子

開業日：平成25年4月1日

事業内容：ありのままの暮らしを愛して、輝く女性力になるジュエリーを製作。石選びはもちろん、デザインやパッケージに至るまで、独自の感性とアイデアを詰め込んだ作品の企画・製作・販売を行っています。

所在地：仙台市青葉区立町23-11高速ビル3階

TEL：022-281-8370

ホームページ：https://lipattijewelry.shop-pro.jp

## やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。

大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす  
**AOBA** 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)

してました。私は塩竈の出身なのですが、地元の状況を見聞きしながら、何かできることはないかと考え始めたのが起業のきっかけです。はじめ、私は料理を作ることが好きなので、オリジナルレシピを1日1レシピ、ウェブサイトにはアップするというノルマを自分に課しました。すると読者が1000人も付いてくれたのです。それを続けていると、皆さんが必要としている情報やそのキーワードなど、大事なものがだんだん分かるようになってきました。そこで、まずこの読者を大切にしようと思い、この層を中心に私自身が社会的に価値のあるものを生み出せるとしたら何だろうと考え始めました。子育てをしながらできる有料コンテンツは…ということでも、子どものおもちゃをつくり、販売してみました。読者は私のレシピを信頼してくれていたもので、おもちゃも買ってくださいました。そこから、切り絵やグリーティングカード、紙細工、木製の積み木もつくりました。それらが、うれしいことに売れまして、中でも最も恒常的に人気があったのがアクセサリだったのです。手づくりのものが収益源になるとは思っていなかったのですが、私がつくってゼロから1になったものを世に送り出すことで、そのお代は私に入ります。それを私が使うことで循環するわけです。「これだ!」と思いついて、商いとしてまだ成り立っていない段階で、娘を連れて塩竈に戻って来ま